

平成 27 年度 学校経営計画

1 学校教育目標

創校の志「学びたきもの集う」と校訓「慎重敢為」を継承し、以下の教育目標の下、人類の発展的未来に貢献する人間の育成をめざす。

- 高邁な理想に向かって、自ら考え行動できる優れた知性を育成する。
- 情操豊かにして自他敬愛の心を持ち、品格ある徳性を陶冶する。
- 平和な世界や国家・郷土の形成者として、たくましい体力・気力を養成する。

2 学校の特徴

本校は明治 18 年に創立された富山県中学校を前身とし、今年で 130 年目を迎える。創校の志「学びたきもの集う」と、「慎重自ら持し、敢為事に当たる」という校訓を今日に継承し、心身ともに健全で、国際社会の発展に寄与する人間の育成を教育目標として掲げている。

学級編制は、全学年普通科 5 クラス、理数科学科・人文社会科学科（総称は探究科学科）併せて 2 クラスとなっている。生徒総数は男子 371 名、女子 467 名、計 838 名で女子が多い。入学してくる生徒のほぼ全員が 4 年制大学進学を志している。また部活動加入率は 93 % で、積極的に活動しており、部活動と学習の両立を図りつつ、心身を鍛え、友情を育んでいる。

平成 14 年度から平成 18 年度（17 年度以降は継続事業）まで、文部科学省の研究開発事業である「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けた。

平成 23 年度からは理数科学科、人文社会科学科が新設され、科学的思考力の育成を重視した教育活動を実践している。

3 学校の現状と課題

何事にも真面目に取り組むが、自主性、主体性に欠ける生徒が増えている中、特に学習面、進路面において、自らの能力・適性等を正しく評価し、自ら設定した高い目標に向け、意欲的に取り組むことができるようにすることが求められている。この観点から、本校では次のような学校課題を掲げている。

「一人ひとりの生徒が自ら学び、考え行動する力を培い、科学的思考力や探究力など、より確かな学力とより高い目標に向け、主体的に進路選択する能力や態度を身につけるようにする」

4 学校教育計画

項目		目標および計画	
(1)	A 学習活動 教科指導計画 重点1 ①②	目標	教科の学習における生徒の実態を的確に捉え、自主性を喚起しながら、成長段階に対応した確実な学力を身につけさせ、一人ひとりの優れた能力・適性の伸長をはかる。
		計画	○学年と教科が連携し、平日及び休日の学習量・学習内容の精選と充実を図る。
			○予習・授業・復習の学習サイクルを機軸とした 主体的な学習習慣の定着 を図る。
			○学習生活実態調査等による個々の生徒の実態を把握・分析し、教師間の共有を図る。
		○面接等をとおして、望ましい学習習慣が定着するよう指導・改善を促す。	
(2)	B 学校生活 生徒指導計画 重点2 ⑤	目標	生徒が主体的に判断し積極的に行動できる力を養うとともに、社会性・道徳性を高める。
		計画	○日常のさまざまな場面で生徒との触れ合いを通じて、観察と指導の機会を積極的に持つとともに、計画的に個人面接を行なう。
			○健康に留意し、規則正しい生活を送る習慣を身につけさせ、 遅刻 、 早退 、 欠席 を減らす。
			○担任・学年や 教育支援部 や 保健厚生部と連携 しながら、個に応じた指導を進める。
			○交通ルール・交通マナーが遵守されるように、特に自転車の安全運転について重点的に指導し、事故の防止を徹底する。
	保健管理指導計画 重点2 ⑧	目標	生徒一人ひとりが健康・体力の保持増進に努め、自主的かつ積極的に健康管理ができるよう、意識の向上と適切な習慣・態度を育成する。
計画		○健康の保持増進を図るために、日頃の健康管理と定期的な受診の必要性の啓蒙を図る。 ○教科指導やHR等をとおして、 規則正しい生活 ・食事・睡眠が健康生活の基盤であることを理解させ、実践させる。	
教育支援計画 重点2 ⑨	目標	生徒の自己理解を促し、人間のあり方や対人関係の心構えに関する基本的な考え方を身につけさせる。	
	計画	○教員・保護者が連携して生徒の現状把握に努め、心身に問題を抱える生徒を早期に発見し、支援する。 ○ 生徒対象の教育支援講演会あるいはワークショップを計画的に実施 し、人間関係のトラブルやストレスに自ら対処できるスキルを身につけるよう支援する。	
(3)	C 進路支援 進路指導計画 重点3 ⑥	目標	生徒一人ひとりが望ましい人生設計ができるよう、個性・学力を伸ばし、主体的に進路を選択・決定する能力を育成する。
		計画	○ キャリア講座・進路講演会の実施 やホームルームでの進路学習、学年による進路面談などをとおして、 早期に進路目標を確立 させる。 ○ 系統的、計画的なキャリア教育の一層の充実 をはかり、生徒一人ひとりの進路意識を明確にすることで、各自の進路志望の実現を援助する。

(4)	D 特別活動 特別活動指導計画	目標	教科指導と特別活動との連携を密にし、普段の教育活動の成果が、総合的・創造的に発揮されるように努める。また、生徒の自主的な活動を促し、協力と責任遂行の重要性を認識させるとともに、豊かで充実した内容となるよう工夫を図る。	
	重点4 ④	計画	○学校行事の内容の充実を図り、 生徒一人ひとりが満足感と達成感を得ることができるよう工夫する。 ○生徒が積極的に企画・運営し、 意欲的に参加 するよう、自主的な活動の育成を図る。	
		目標	学習活動に役立つ豊富な資料を整備するとともに、読書意欲を高め、生徒一人ひとりの人間形成に資する良好な読書習慣を身につけさせる。	
	学校図書館指導計画	重点4 ⑦	計画	○教養講座、読書会、広報活動などの生徒図書委員会の諸活動が主体的・創造的に運営されるよう援助し、その活動を核として一般生徒の 読書に対する興味関心を高め、図書館利用を促進 する。 ○図書館運営委員会の協議に基づき、各学年・各教科との連携をはかりながら、購入図書の精選と充実を努め、 各教科等の発展的学習での活用 に役立つようにする。
(5)	E その他 科学教育の推進	目標	科学的思考力や探究力などを身につけさせる。	
	重点5 ⑨③	計画	○各教科や総合的な学習の時間において、課題解決的な学習等を計画的に取り入れ、 科学的な思考力や探究力、課題解決能力の育成 をはかる。 ○ 課題解決的な学習に意欲的に取り組む ことができるよう工夫する。	
		目標	むつみ会(PTA)主催の委員会や講演会の内容を充実し、保護者と学校との連携を図り、保護者の本校に対する理解を深める。	
	開かれた学校づくり	重点2 ⑤	計画	○ むつみ会主催の講演会を計画的に実施 し、その内容の充実と保護者への周知徹底を図る。 ○むつみ会委員会(PTA)の出席率を高める工夫を、PTA役員と協議し推進する。
		重点3 ⑥	目標	安定した生活習慣の確立をめざし、高校生活を充実したものとする。 生徒一人ひとりが自分に適したより高い進路目標を設定し、その達成に向けて意欲的に学習を進めるよう支援・指導する。
	学年経営計画	重点1 ②	計画	○ 予習・授業・復習の学習習慣の確立 に努める。 ○ 安易な欠席・遅刻をしない よう指導する。 ○ 自己の将来像の実現に向けた早期の取り組み を促す。
重点2 ⑤				
重点3 ⑥				

5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

平成27年度 富山高等学校アクションプラン -1-			
重点項目	学習活動		
重点課題	家庭学習の充実(生徒)と教師の授業力向上		
現 状	<p>(1)1、2年生において、平日3時間の学習時間を確保できていない生徒が見られる。また、予習に比べて復習にかけられる時間が確保されておらず、学習事項の定着に不十分な面が見られる。テストの見直しも含め、復習することの重要性を認識させていく必要がある。</p> <p>(2)年々生徒の実態は変化しており、それと共にこれまでの講義形式の授業だけでは、生徒の主体性を十分に引き出すのが難しくなっている。教師は「学び合い」・ICTの活用など、授業形態に工夫を凝らし、内容の充実を図りながら、生徒の学力をより一層伸ばす授業形態を模索する必要がある。</p>		
達成目標	<table border="1"> <tr> <td> <p>[家庭学習時間の充実]</p> <p>①1・2年生の学習時間について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2時間未満の生徒の割合10%未満 ・平日3時間以上の生徒の割合70%以上 <p>②1・2年生の古典、数学、英語について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を行った生徒の割合70%以上 </td> <td> <p>[授業力の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業満足度80%以上 ・「学び合い」又は「ICTの活用」を行った授業の割合60%以上 ・互見授業への参加100% </td> </tr> </table>	<p>[家庭学習時間の充実]</p> <p>①1・2年生の学習時間について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2時間未満の生徒の割合10%未満 ・平日3時間以上の生徒の割合70%以上 <p>②1・2年生の古典、数学、英語について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を行った生徒の割合70%以上 	<p>[授業力の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業満足度80%以上 ・「学び合い」又は「ICTの活用」を行った授業の割合60%以上 ・互見授業への参加100%
<p>[家庭学習時間の充実]</p> <p>①1・2年生の学習時間について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2時間未満の生徒の割合10%未満 ・平日3時間以上の生徒の割合70%以上 <p>②1・2年生の古典、数学、英語について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を行った生徒の割合70%以上 	<p>[授業力の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業満足度80%以上 ・「学び合い」又は「ICTの活用」を行った授業の割合60%以上 ・互見授業への参加100% 		
方 策	<p>1 担任による年間6回以上に及ぶ面接等を通し、望ましい1日の生活パターンを想定させ、生活習慣の見直しや改善を図るよう指導する。</p> <p>2 平日は予習、休日は復習に重点を置き、意欲的に取り組むことができるよう、学年・教科が連携し、課題の与え方や分量等を工夫・改善する。</p> <p>3 公開授業・互見授業等を活用し授業改善を図るとともに、各教科・科目において「学び合い」・ICTを活用した授業を計画的に設定する。</p>		

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成27年度 富山高等学校アクションプラン -2-			
重点項目	学校生活		
重点課題	基本的生活習慣の改善と生徒支援スキルの向上		
現 状	<p>本校では『生活あつての学習』を掲げ、規則正しい生活習慣の確立をめざしているが、遅刻や欠席が学年進行とともに増加する傾向にある。</p> <p>素直で真面目であるが、現実に対応できず悩みを抱えてしまう生徒が多く、高校生活に適応しづらくなっている生徒が増えている。教員・保護者が連携して生徒の現状把握に努め、ストレスや悩みの解消に向けて援助する取り組みが必要である。</p>		
達成目標	<table border="1"> <tr> <td> <p>①1日当たりの遅刻者数・欠席者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者数が各学年1日あたり一人未満 ・欠席者数が各学年1日あたり一人未満(ただし、事故や通院等によるやむを得ない理由による遅刻・長期欠席等を除く) </td> <td> <p>②生徒・保護者向け研修会等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教員、保護者を対象とする講演会や研修会・ワークショップを年間5回以上実施する。 </td> </tr> </table>	<p>①1日当たりの遅刻者数・欠席者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者数が各学年1日あたり一人未満 ・欠席者数が各学年1日あたり一人未満(ただし、事故や通院等によるやむを得ない理由による遅刻・長期欠席等を除く) 	<p>②生徒・保護者向け研修会等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教員、保護者を対象とする講演会や研修会・ワークショップを年間5回以上実施する。
<p>①1日当たりの遅刻者数・欠席者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者数が各学年1日あたり一人未満 ・欠席者数が各学年1日あたり一人未満(ただし、事故や通院等によるやむを得ない理由による遅刻・長期欠席等を除く) 	<p>②生徒・保護者向け研修会等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、教員、保護者を対象とする講演会や研修会・ワークショップを年間5回以上実施する。 		
方 策	<p>1 欠席や遅刻を繰り返す生徒を早期に見つけ、担任や学年主任が面接等をするとともに、保護者と連携し生活習慣の改善を促す等の指導を行なう。</p> <p>2 生徒に対して適宜講演会を企画するほか、教員・保護者が連携して生徒の現状把握に努め、心身に問題を抱える生徒を早期に発見し援助する。</p> <p>3 教育支援部や保健厚生部などと連携し、悩みやストレスに対応するためのスキルを、教員や保護者が学ぶ機会を設ける。</p>		

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成27年度 富山高等学校アクションプラン -3-		
重点項目	進路支援	
重点課題	一人ひとりの生徒に応じた適切な進路指導の実践	
現 状	1. 具体的な進路目標の決定が遅く、目標に向けた自主的・意欲的な学習に結びついていない生徒が少なくない。 2. 個々の生徒に応じた進路支援を行うよう努めているが、必ずしも生徒自らが自己の適性や能力を真剣に考えて進路目標を定めているとは言えず、自己を過大あるいは過小に評価したまま漠然とした進路目標の設定に終始してしまう生徒も見受けられる。	
達成目標	①[意欲的学習態度の育成] スケジュール帳を活用し、週ごとに自己評価を重ねることで改善点が明確化し、学習意欲が向上した1・2年生徒の割合80%以上	②[進路意識の向上] 進路講演会や面談を通して進路について考える意識が高まり、2年2月までに進学目標がより明確化した生徒の割合80%以上
	1 スケジュール帳を積極的に活用させ、進路目標の設定や学習習慣の向上に役立てさせる。 2 各学年において、生徒の実態にあった進路指導の方針を明確にし、早期の進路目標決定の必要性について周知徹底を図るとともに、担任等による面接指導を徹底し、個々の生徒に適合した目標の設定やその実現に向けた助言などに努める。 3 適切な進路指導を行うため、生徒や先生方にとって必要かつ有意義な情報の提供ができるように努める。 4 社会人や大学生を招いてのキャリア講座・進路講演等を実施し、目標に向けた自主的・意欲的な学習に結びつくよう指導する。	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成27年度 富山高等学校アクションプラン -4-		
重点項目	特別活動	
重点課題	学校行事への意欲的な取り組みと、読書による広範な教養の習得	
現 状	(1) 学校行事は生徒の主体的活動を促し、学校の活力醸成の重要なものである。よって内容が豊かで充実しているものが大切である。本校では生徒と教職員が協力して運営しているが、積極的に参加している生徒がいる反面、やや消極的で自主性・創造性に欠けた面も見受けられる。年間の行事の意義や各行事の目的・方法を検討するとともに、生徒の意識調査を通じて今後の学校行事への意欲的な取り組みにつなげていきたい。 (2) 昨年度の読書実態調査によると、年間12冊以上を読む生徒は、1年生で19%、2年生で15%である。一方、年間3冊以下という生徒が56%いる。自己研鑽の意欲はあるものの、教科学習や部活動の比重が大きく、どうしても読書量が増えにくい傾向にある。	
達成目標	①[学校行事への取り組み] 本校の二大学校行事に対して充実していると感じた生徒の割合80%以上。特に意欲度・満足度では、80%以上になるようにする。	②[読書] 課題以外で年間に3冊以上本を読む1・2年生徒の割合 70%以上。
	1. 主な学校行事(体育大会、文化活動発表会、)に対してアンケートを実施する。 ①計画・運営に協力できたか。②意欲的に参加できたか。③満足度。④その他意見。 2. 行事検討委員会において年間における特活行事の時期、目的、内容等の検討を行う。 3. 月刊「図書館」、図書館だより(1・2学期1回ずつ)、富高図書館(年度末)を発行したり、1・2年に文庫本・新書本の配備を進めたりして、読書に対する興味関心を高める。 4. 読書会・教養講座・文化活動発表会展示を生徒図書委員会主体で行い、読書の意義と楽しさを伝える。 5. 教科・学年と連携して広く良書を紹介し、生徒の読書意欲を喚起するとともに、授業や探究活動において、情報源・メディアセンターとして図書館を積極的に活用する態度を育てる。	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

重点項目	科学教育の推進	
重点課題	科学的思考力の習得	
現 状	変化の激しいこれからの時代を生き抜くためには、「知識が豊富であること」だけではなく、「自ら課題を設定し、論理的に思考し、科学的なスキルを活用し解決を図っていく力」が必要となる。それらを育む効果的な教育課程が求められている。	
達成目標	①[課題発見力・論理的思考力の育成]	②[意欲的学習態度の育成]
	※「論理的思考力テスト(1月実施)」 学習確認テストにより「課題発見力」や「論理的思考力」がついた探究科学科の生徒の割合、80%以上	※「意識(興味・関心・意欲)調査」 「課題発見力」や「論理的思考力」を育成する学習に意欲的に取り組んだ探究科学科の生徒の割合、80%以上
方 策	①「探究基礎Ⅰ」「探究基礎Ⅱ」の指導内容・指導方法を十分研究し、その教育課程について、授業担当者の共通理解と密接な連携のもとに実施する。 ②理数科学科の筑波科学研究、人文社会学科の東京社会研修を、「探究基礎Ⅱ」と効果的に結び付け、探究活動をより深めるよう実施する。 ③「課題発見力」や「論理的思考力」を育成する学習を、1・2年普通科「総合的学習の時間」の指導にも取り入れる。	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)